

ハートフルケアなかの

中野区介護サービス事業所連絡会 発行 会長 福島 誠

今年度を振り返って



2023年度は新型コロナウイルスが5類になり、世の中の活気も徐々に戻ってまいりました。我々医療・介護業界は世の中の活気が戻ってくる中で、コロナ禍よりも感染対策に気を使わなければならない場面やマスクの着用、感染対策についてご利用者様やご家族様へ理解を求める場面も増えたのではないのでしょうか。業務が増え、世の中が戻ってきている中で自分達だけが制限や気遣いをおこない苦勞をされてきたと存じます。

そんな苦しい状況の中で中野区介護サービス事業所連絡会の活動にご協力賜り感謝申し上げます。ありがとうございました。

皆様からのご協力をいただき、第1回目の中野区介護サービス事業所連絡会中野区長賞の開催、区議会各党派との意見交換、中野区関係系との意見交換、BCPフォーマットの作成など一步一步意味のある活動へと繋がりました。物価高騰対策支援金の支給、グループホームの転入後3ヶ月制限の省令変更は意見交換があったからこそ実現できた事かと思えます。また、BCPの各事業形態ごとのフォーマット作成はとても参考になる取り組みでございました。

事業所との繋がりの情報共有・意見交換がとても重要であり、今後我々の顔の見える機会をどのように作っていくのかを考えなければいけないと改めて認識致しました。

2024年度は交流の場を多く創造できればと検討してまいります。

本年も1年間ありがとうございました。また、来年度も何卒ご協力ご尽力の程、宜しく願い申し上げます。

中野区介護サービス事業所連絡会 会長 福島 誠

中野区介護サービス事業所連絡会 次回総会について

4月19日（金）中野区介護サービス事業所連絡会総会を開催します。

2024年度の総会は、4年ぶりに中野区医師会館にて対面で実施いたします。

2024年度は、会員同士の交流や情報交換を中心に、中野区介護サービス事業所連絡会の取り組みを進めていきたいと思っております。

今回の総会では、中野区医師会のご協力により、基調講演と総会終了後に会場での情報交換の場を作っております。ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。会場でお待ちしています。

日時：2024年4月19日（金） 18時00分～20時30分

会場：中野区医師会館（中野区中野2-27-17）

内容：第1部 総会

第2部 基調講演 「（仮題）地域で支える医療と介護の連携について」

講師：中野区医師会 宮嶋剛氏

第3部 情報交換

（事務局 中野社協 小山奈美・佐藤恵美）

賛助会員事業所紹介

事業所名：富士見台さくら歯科

所在地：上鷲宮3-10-12 TEL 03-5848-9373

診療内容：外来・訪問診療

賛助会員の「富士見台さくら歯科」さん取材に行きまして。外来の他、私たち介護事業所と関りが強い訪問診療も中野区や近隣区まで広く行っているようです。

まずは、私（取材者）が一番お聞きしたかった質問。連絡会に賛助会員として参加して下さった理由をお聞きしたところ、「多職種での地域の方との交流を通して、歯医者というくくりだけでなく地域へ貢献したいと思っていたところ連絡会の事を聞いて参加しました。」と話して下さり、介護業界との連携も積極的に考えて下さっていると感じました。

診療にあたり地域にむけて考えていらっしゃる事については「オーラルフレイルは全身の健康の入り口です。フレイル予防は誤嚥性の予防であり、命を守ることでもあります。予防の取り組みで住民の方に貢献したいと考えています。」と丁寧にお話し下さいました。



インタビューにお答えくださった
歯学博士 院長 芳賀浩昭 先生

MIKAN、みまーも桃園、ラン伴他、地域に積極的に出て下さり、優しい物腰でご相談もしやすい素敵な先生です。



最後に、連絡会や介護事業所に伝えたいメッセージなどをお聞きすると、「入会させて頂くことで、沢山の方と知り合い、教えて頂いたり、介護に携わる方のお口の疑問などを解決するなど、それぞれの得意な事で連携を図っていきたいです。」とのことでした。お言葉だけでなく、すでに地域ネットワーク活動団体への協力や町会の見守り支えあい活動への支援、各種サロンへの参加や、介護家族会への協力、ボランティア活動など、介護の仲間と共に積極的に取り組まれている先生のお話で連絡会としての地域連携を改めて考える機会を頂きました。ありがとうございました。（取材：白岩）

事業所名：ダスキンライフケア丸山ステーション 株式会社サンエイ

所在地：丸山2-1-12 TEL 0120-834-671 サービス内容：公的介護保険外の在宅介護サービス



環状7号線の丸山陸橋手前側道を入り新青梅街道を超えたすぐ左手にダスキンライフケア丸山ステーションの看板が見えます。

「私たち丸山ステーションはお客様のもうひとりの家族になります」と手書きの文字と絵で描かれた素晴らしい理念を表現されたポスターが事務所に入ってすぐ目に止まりました。マネジャーの杉本さん、鬼頭さん、猪股さんの三人にご対応いただきましたが、皆さん笑顔の素敵な方で、楽しくお話をうかがうことができました。

まず中野区介護サービス事業所連絡会は公的介護保険事業を営む会員が中心となって運営されていますが、長く賛助会員になっていただいていることに感謝申し上げ、事業の現状などお聞かせいただきました。



日々どのような想いでお仕事をされているのかお聞きすると、介護保険の隙間に入るという意識ではなく、制度では満たすことがむづかしいお客様の要望をご家族の一員として臨機応変に対応しているとのこと。そのような姿勢が高く評価され、毎年開催されるCare Staff of the year 2023年においてダスキンライフケア丸山ステーションの岩崎倫子さんの事例が最優秀のCare Staff of the year 2023年の荣誉に輝いたとのことでした。

介護保険制度には様々な制約があり、私たちの想いだけではなかなか実現できないこともありますが、そのようなサービスを望まれるご利用者にも、日本一に輝いたダスキンライフケア丸山ステーションを知っていただきたいと思ったのです。（取材：花堂）



事業所名：ケアセンター希 氏名：田村 竜介 職種：訪問介護サービス提供責任者 職歴：22歳～28歳 精神科病院ケアワーカー 28歳～47歳 介護系営利法人の営業職・サービス提供責任者・管理者

○介護を通して、利用者様の人生に深く関わった事の中で学んだ事がありますか？

生活が荒れている人ほど地域から孤立している印象が強くありましたので、家族や友人、地域の方々との繋がりの大切さを学びました。

○介護を通して、やりがいを感じたことや嬉しかったことはありますか？

他人が自宅に訪問する事に否定的でキャンセルが多かった方が、訪問を重ねる事で次第に打ち解け始め、訪問する事に歓迎され回数も増回してくれるほど理解して下さった事が嬉しく感じました。

事業所名：特別養護老人ホーム弥生ホーム 氏名：匿名

○介護を通して、利用者様の人生に深く関わった事の中で学んだ事がありますか？

様々な視点の専門家同士が連携しあい、利用者様の人生に寄り添い、その時点での最良を提供し続けていくことが大切だと学びました。

○介護を通して、やりがいを感じたことや嬉しかったことはありますか？

認知症ケアにおいては、患者様との関わりのひとつひとつが安らぎや安心感、心地よさに繋がります。私のケアで言葉を喋ることの出来ないご利用者さまの表情や体の緊張が緩んだ時や、夕暮れ時に皆様が穏やかに談笑しているときは、とても喜びを感じます。

事業所名：介護ステーションぼけっと 氏名：小川 江美

職種：訪問介護／サービス提供責任者 職歴：3年（事務含めると22年）

○介護を通して、利用者様の人生に深く関わった事の中で学んだ事がありますか？

色々な方と関わらせていただき、学ばせていただきました。目の見えない方は、とても記憶力が良く何をどこに置いたかや、人の声など良く覚えていらっしやいます。私は置いたところを忘れてたり、視力に頼っているからでしょう。また、同じようにお一人暮らしの方は、パワフルでお強いです。頼らない、頼れないは、元気でいられる事だとあらためて学びました。

○介護を通して、やりがいを感じたことや嬉しかったことはありますか？

認知症の利用者様が、顔を覚えてくださり、笑顔で迎えてくださる時は、嬉しいです。また、あなたがくるのを楽しみに待ってる。や、あなたが来ると元気になる。と、おっしゃってくださると嬉しいです。

事業所名：カリス訪問看護ステーション 氏名：植野 風夏

職種：訪問看護師 職歴：在宅診療所・在宅療養病院急性期混合病棟・訪問看護

○介護を通して、利用者様の人生に深く関わった事の中で学んだ事がありますか？

医療職種としての関わりだけでなく、在宅では利用者様やご家族と同じ目線でフラットに関わることで、信頼関係が構築され本音を引き出しやすくなり、治療方針やケアのペースを共に決めていく事ができると学びました。

○介護を通して、やりがいを感じたことや嬉しかったことはありますか？

事業所内だけでは解決できなかったことが、他職種や地域の方にも相談することで、利用者様の利益と解決に繋がったときに、とても嬉しくありがたく思います。中野区には、地域の横の繋がりが強く温かいと感じています。

事業所名：東中野キングスガーデン 氏名：匿名

職種：ケアワーカー

○介護を通して、利用者様の人生に深く関わった事の中で学んだ事がありますか？

ご利用者とそのご家族には「こだわり」「生活習慣」があり、一貫性を持った介護は難しく、その人らしく生活して頂くのが、意味のある介護だと学びました。

○介護を通して、やりがいを感じたことや嬉しかったことはありますか？

コミュニケーションが難しく、ご利用者の求めている事がなかなか理解できず、ご納得頂けない事があり、試行錯誤して求めている答えにたどり着き、職員とご利用者の理解が一緒になり、信頼関係を築けた時にやりがいを感じました。

<令和5年度 ハートフルケアなかの 発行実績>

2023年 7月発行 第87号

内容：酒井区長のお言葉 会長あいさつ 総会の様子 新規事業所紹介 シリーズ「現場の声」 運営委員紹介

今年度の新企画。介護現場の貴重な生の声が聞けました！

2023年10月発行 第88号

内容：中野区議会各党との政策懇談会について 新規事業所紹介 シリーズ「現場の声」 フードパントリーについて 事業所連絡会からのお知らせ

2023年12月発行 第89号

内容：区長賞授与式の様子 介護の日イベントについて シリーズ「現場の声」 新規事業所紹介

表彰された皆様の喜ぶお姿が、とても印象に残りました！

2024年 3月発行 第90号

内容：会長より今年度を振り返って 次期総会について 賛助会員事業所紹介 シリーズ「現場の声」 広報・地域連携チームより

すべては人との出会いによって決まると考える私にとって、取材で同じ思いを共有する同業の仲間との出会いに感謝しています。そして広報チームの皆さん、一年間お支えいただきありがとうございました。皆さんの益々のご活躍を祈っております。感謝！ (花堂)

今年も無事に4回発行することができました。チームの皆さんもお忙しいのでスケジュール管理が大切だなと改めて感じました。せっかく頑張っているのでも来年度はこれをもっと沢山の方に読んでいただけるように工夫したいです。(白岩)

今年度は広報チームメンバーとして何ができるか？を考慮しました。介護に携わっている事業所の方々がどのように困難を乗り越えて、明るく楽しく介護をされているか。発信をしていく事が共存、共有に繋がっていく事だと思ひ、様々な声を聞きました。私自身も更に頑張っていこうと思います。(岩根)

生まれて初めて「取材」に行かせて頂きました。右も左も分からず、不安しかありませんでしたが、花堂副会長から励ましやアドバイスを頂いて何とか終える事が出来ました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。(岡)

今年初めて広報やりました。皆さんに教えてもらうことが多く、取材したくらいしかしてないところではあります。つついななめ読みしちゃうこともあると思いますが、色々楽しくさせていただきました。また機会があればよろしく願ひします。(鈴木)

編集作業で一番気をつけたのは、「いかに読みやすい紙面構成にするか？」ということです。皆様から頂戴した原稿を体裁よく組み立てることは、苦勞しましたが大変やりがいのあるミッションでした。皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。(佐藤)

「ハートフルケアなかの」は、中野区介護サービス事業所連絡会ホームページからダウンロードできます。職員、利用者様にも配布してご利用ください。

(<http://www.nakano-kaigo.org/>)

事務局：中野区社会福祉協議会 経営管理課内 担当 小山・佐藤

〒164-0001 中野区中野5-68-7 スマイルなかの4階 (日・祝・第3 月休)

電話：5380-0751 FAX：5380-0750